

六年生 『風景 純銀もぎく』

五月 日

準備するもの 教科書10ページ～11ページ

( 1 ) まずはこの詩をノートに視写してみよう。書くときは教科書のように、横につなげて書きこみよう。

( 2 ) (風景の作者は誰ですか。  
[空欄])

( 3 ) この詩はいくつの連にわかれていますか。  
※連とは(詩の中のまとまりのことです。)  
[空欄]

( 4 ) (連)と(何度も音読し、それぞれの連でどのような風景がうかんでくるか書いてみよう。

考えるときのポイント

- ① 3つの連の8行目「かすかなるむきみんえ」「ひばりのおしやへり」「  
ながはな畑の色」「広な」「こおつ」「昔」など、  
なのはな畑を想像しながら書きこみよう。
- ②

① 一連

[空欄]

② 二連

[空欄]

③ 三連

[空欄]

( 4 ) ( 3 ) で書いた風景を、ノートのそれぞれの連の下に絵で書いてみよう。

